

# 杏花里在宅介護支援センター

## 《運営・処遇方針》

### 【私たちの使命】

杏花里在宅介護支援センターは、利用者と介護者（家族等）を軸にした生活を維持する為に自立支援に向け本人の「強み」「自信」を引き出し、背景を分析出来る専門職として、聞き取る力、視野を広げるように努めていきます。多様化、複雑化する課題に対する取り組みを促進する観点からヤングケアラー、障害、難病、生活保護、虐待疑い等の他の制度に関する知識を身につけ相談事に対し、柔軟性を高め、問題が解決できるようスキルアップしてまいります。

地域資源の活用や多職種・関係機関とのネットワーク構築や各介護事業所とは「データ連携システム」を有効に利用し横との繋がりにも尽力してまいります。

### 【私たちが提供できる価値】

自立支援・重度化防止の支援に尽力するためにも、多職種や行政、包括との連携及びMC Sなどを利用して医療との連携も図っていきます。また、BCP（災害、感染症）の定期的な職員間での周知、情報収集・共有を行い災害時等に的確に対応できる体制づくりを行ってまいります。虐待についても担当者を中心に研修や訓練をおこない予測を含めた考える介護を意識し敏速な対応ができるように努めます。

### 《主任介護支援専門員》

主任介護支援専門員は、現場の最前線と地域をつなぐ「変化のカタリスト（触媒）」ともいえる存在である為、その場面ごとに柔軟に判断し、利用者やチームにとって最善の解決策を導く能力が重要と考えております。

また、介護専門員がどのような壁に直面しているのか、その心情に寄り添いながら、本人が気づけるような的確なアドバイスに努めて参ります。

利用者の住み慣れた環境で「尊厳の保持」に対して真摯に支援ができるよう努めて参ります。

### 《介護支援専門員》

介護保険制度におけるサービスの入り口として、利用者と介護サービスを繋ぐ重要な役割を担っていると考えています。

利用者個人の背景を分析し、利用者に合わせたサービスが提供できるよう支援してまいります。

毎月のeラーニング研修を活用して、トラブル発生時を想定しながら丁寧、理解しやすい説明を目指してまいります。

### 【年度終了時の展望】

一昨年度の介護保険改正やこれからの改正についての情報を周知し、eラーニングやZOOM、対面研修、ICT機器等を活用し適切な支援を目指してまいります。また、「MC S」「データ連携システム」などを活用し、事務作業の効率化、負担軽減を目指し一人当たり担当件数40件の月平均実績を直近の目標として利用者、介護者に丁寧に向き合うことで信頼を得られる事業所として引き続き役割を果たしてまいります事を約束し令和8度杏花里在宅介護支援センターの事業計画、運営処遇方針とさせていただきます。